

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えんりっち		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16 (回答数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年4月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容や支援の専門性の高さについては、満足度が高い結果が多かった。	週に1回研修を実施していることに加え、新しい職員向けのカリキュラムもあり、支援の質を維持・向上できるように取り組んでいる。	今後は事例を検討するなど、子どもの発達を理解や、支援の幅を広げるための研修等を実施し、より充実した支援となるように研鑽していきたい。
2	小学校や保育園の先生に対して、職員が受容的、親身になって相談に乗ってくれるなど、職員の態度や対応についての満足度が高かった。	まずは気持ちを受容・共感することが信頼関係構築の第一歩であること、信頼関係の構築が支援の入口と共通理解を持つよう心がけている。	現状に満足せず、さらに接遇の質を高められるよう、研修などに取り組んでいきたい。
3	道具やおもちゃ、支援グッズが豊富であること	感覚統合を主軸としていながらも、運動や感覚、コミュニケーション、学習に必要な支援グッズ等もできる限り用意するようにしている。	支援を通じて、必要な物品等を準備し、可能な限りオーダーメイドでの支援ができるように取り組んでいきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等は開催しているが、対象が部分的となっている。また、父母の会の支援などはできていない。	以前は全体向けに保護者会を開催していたが、現在は人員の関係上、実施できていない。	今年度から年に数回実施していく予定である。
2	マニュアルはすべて作成しており、研修・訓練なども実施しているが、利用者様に周知ができていない。	マニュアル等を事業所内に配架しているが、お子様の手の届きにくい場所に位置しているため、保護者様も気づきにくいかと考えられる。	設置位置については変更が難しいため、SNSでの発信をしていけるように取り組む。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		えんりっち					公表日		2025 年 4 月 30 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点				
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	0						
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0						
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	・保育所等訪問部門での会議があり、その中で、実施方法や課題の改善点などを話し合っている。その結果等は運営会議で職員と共有している。					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・把握する機会を設けている。運営会議でみんなで閲覧して、次年度の業務に活かしている。					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・運営会議を毎週開催しており、気になったことなどについては話し合えている。					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		・しているか知らない。 ・していない。				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	・毎週研修がある。 ・児発管や強度行動障害支援者研修など外部の研修への参加費用も補助されている・					
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	・アセスメントやモニタリングを行ったうえで計画書を作成している。					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	・理想の子ども像を職員間で共有し、対応などに困った際には、その子の気持ちに沿ったり、成長につながるように意識している。					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	・訪問開始前には事前に訪問先施設との打ち合わせを行い、支援方法について協議している。					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・計画については共有されている。					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	・子どもの言動の観察や環境面の把握、先生方の子どもの捉えなどを総合的にアセスメントしている。	・標準化されたツール等はない。				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	・具体的に支援内容は設定している。					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・計画に沿って支援が行われている。					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	2		・支援は個人で行うことが多いため、打ち合わせ等はしていない。				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	・支援終了後には、記録を通じて児発管と共有し、課題や次の支援方法などについて相談している。					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	・尊重している。					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	・記録を書いている。					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	・モニタリングは必ず行っている。 ・支援計画を書き直している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	・児発管が参加している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	・保護者の希望に応じて、保育所や学校と管理者が連携を行う体制をとっている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1	・小学校入学時には継続して利用できるようにしている	・入学前は担任も決まっておらず、共有が難しく、入学後すぐは忙しくて共有できない。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0	・外部研修などに参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	2		・参加できる仕組みではない
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	・報告書の送付ならびに口頭や電話での説明を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	・保護者会などを定期的に開催している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	・契約時にしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	・初回利用児には、管理者が挨拶に出向き、事業の趣旨や訪問支援の目的等を説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	・アセスメントの中で、意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	・している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0	・報告時に相談を受けている。また、必要に応じて児発管が相談に乗っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	0	・保護者会を開催し、その中でテーマを決めて研修を行っている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	・苦情解決窓口があり、受け付けている。	・苦情がどの程度あるかわからない。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	2	・Instagramで発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・留意している。	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	・絵カードなどを使用している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	・相談等がある場合には、その場で答えている。	・施設からの相談として、対象となる児童以外の質問等には答えられていない。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	・現地での振り返りもしくは、別日での電話での振り返りを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	・報告書の送付ならびに口頭や電話での説明を行っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	・信頼関係は築けていると思う。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	・マニュアルを策定している。毎年見直している。	・周知できているかは不明。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	・安全計画を策定しており、訓練や研修を実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	・朝礼でヒヤリハットを共有している。 ・必要に応じて柱などの防護を行っている。	・下半期では報告数が下がってくるため、次年度は意識づけが必要。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	・研修をしている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	・している。	